

Special Feature

特集

介護DX

働き手不足を補う老健施設 最新のICT化

● 2025年に「団塊の世代」が75歳以上を迎える一方、生産年齢人口は減り続けている。良質な介護サービスを確保しつつ、人材不足に対応していくことが喫緊の課題となっている。

そのような状況下で、ICT化による業務の効率化・職員の負担軽減が介護人材の獲得、そして定着の大きなポイントになってくることは間違いない。

だが、どのような方法でICTを使いこなす介護人材を育成するのか、実際にどのようなICT機器を導入して活用していくべきなのか。本特集が悩める老健施設にとって有益な提案となるのではないだろうか。ひいてはその先に、めざすべき「介護DX」の道が拓かれているように思われる。



インタビュー

生産性向上中核人材の育成に向けて 「デジタル・テクノロジー基本研修」 を実施

酒井賢一さん
公益社団法人日本介護福祉士会 常任理事

インタビュー

ICT導入で介護職員の負担軽減へ 成功の鍵はタスクシフトとの両立

介護老人保健施設いこいの森（三重県）
理事長 東 憲太郎
支援相談員、社会福祉士、精神保健福祉士 吉川有理さん

